

第 2 回 鳥 栖 市 ま ち づ くり 検 討 委 員 会

■ 日 時： 平成 2 1 年 9 月 3 日 (木) 午 後 1 時 3 0 分

■ 場 所： 市 役 所 2 階 第 3 会 議 室

会議次第：

1. 開 会

2. 議 事

(1) 各種地域団体の状況について

(2) 先進自治体の状況について

(3) 地域自治組織の検討について

(4) その他

3. 閉 会

『配布資料一覧』

- 各種地域団体の状況について (資料 1)
- 先進自治体の状況について (資料 2)
- 地域自治組織の検討について (資料 3)
- 宗像市南郷地区コミュニティ運営協議会 組織図・活動内容 (資料 4)
- 宗像市のコミュニティづくり (パンフレット) (資料 5)

各種地域団体の状況について

平成 2 1 年 9 月 3 日

鳥 栖 市

地域団体の活動に対するアンケート調査について

調査期間:平成21年8月3日～平成21年8月26日

調査対象:地域で活動する団体146団体

組織名	調査団体数	回答団体数	回答率
小中学校PTA (PTA)	12	9	75.0%
町区子どもクラブ (子どもク)	58	33	56.9%
地区民生委員児童委員連絡協議会 (民児協)	7	7	100.0%
町区老人会 (老人会)	40	26	65.0%
地区婦人会 (婦人会)	3	2	66.7%
鳥栖市消防団 (消防団)	5	3	60.0%
地区社会福祉協議会 (社協)	7	7	100.0%
地区交通対策協議会 (交対協)	7	6	85.7%
地区体育協会 (体協)	7	6	85.7%
計	146	99	67.8%

調査方法:各団体にアンケート調査表を郵送又は手渡し、8月26日までに99団体から回答があった。

アンケート結果の概要

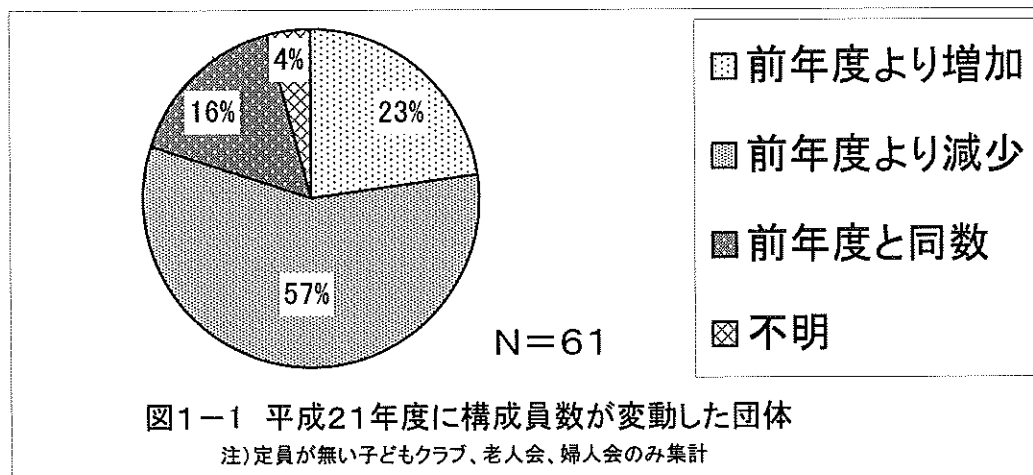
1 全体的な状況

(1) 平成21年度に構成員数が変動した団体

アンケート調査対象団体は、いずれも地域で活動している団体であるが、定員の無い団体では、平成20年度と比較すると平成21年度の構成員の数が増加した団体は13団体、減少した団体は35団体、同数の団体は11団体、不明2団体であった。

子どもクラブ、老人会、婦人会とも加入は任意であり、約6割の団体で構成員が減少している。

団体ごとに見てみると(5ページ参照)、子どもクラブでは3分の2以上の団体が構成員の減少を示しており、少子化の影響が現れている。一方、高齢化の影響で老人会は構成員が増えている団体が多いと思われていたが、実際は約46%の団体が構成員の減少を示しており、構成員の増加を示した団体は3割に過ぎない。

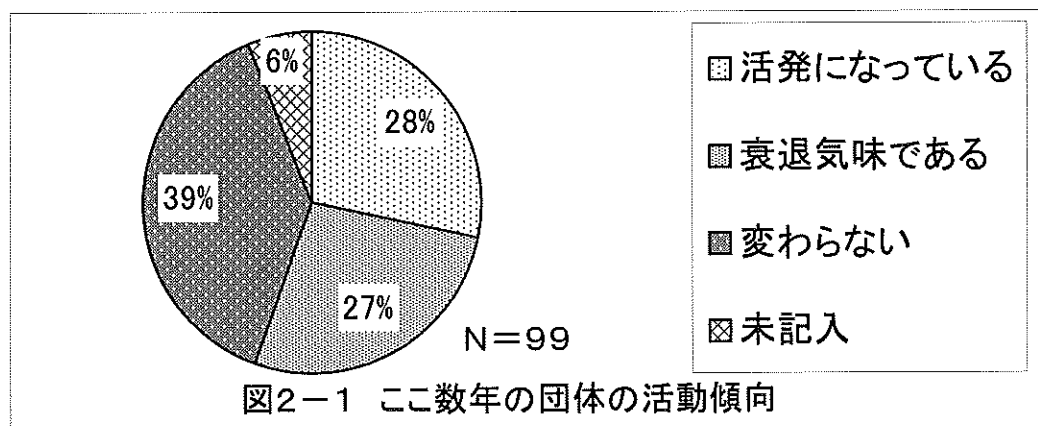


(2) 団体の活動の傾向

ここ数年の活動の状況を聞いたところ、「活発になってきている」と答えた団体は28団体、「衰退気味である」と答えた団体は27団体、変わらないと答えた団体は38団体、未記入6団体であった。

活動が活発になっている団体と、活動が衰退気味であると答えた団体の数は拮抗している。

団体ごとに見てみると(6ページ参照)、PTA、民生委員児童委員連絡協議会、消防団で「活発になっている」という回答が最多となっている。また婦人会では「活発になっている」と「衰退気味である」が、社会福祉協議会では「活発になっている」と「変わらない」が、それぞれ同数で最多である。一方老人クラブでは「衰退気味である」が、子どもクラブ、交通対策協議会、体育協会では「変わらない」という回答が最も多くなっている。町区単位で活動する子どもクラブや老人会が衰退気味と答える割合が多く、地区単位で活動する団体に活発になっているという回答が多い。

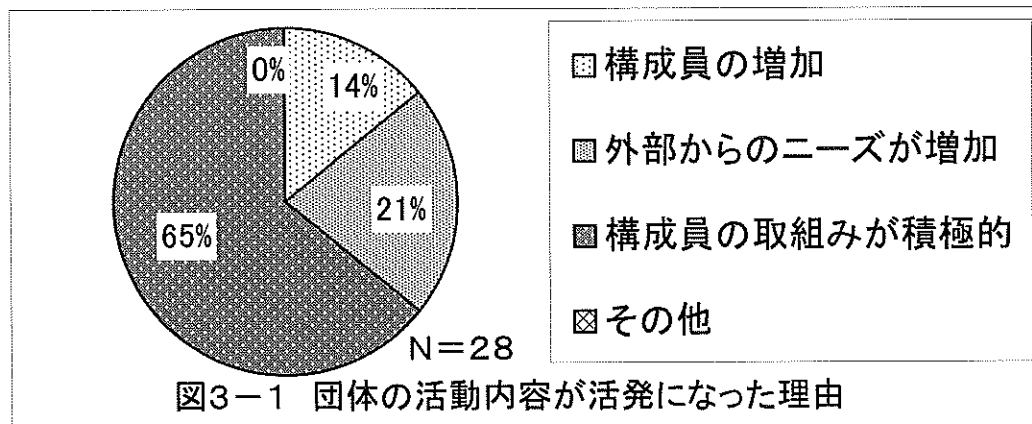


(3) 活動が活発になった理由

活発になった理由を聞いてみると、「指導者や構成員の取組みが積極的になった」が18件と最も多く、次いで「外部から団体の活動に対するニーズが増加した」が6件、次いで「構成員が増加し、その結果活動内容が質・量とも増加した」が4件となった。

構成員が減少する団体が6割を占める中、構成員の積極的な取組みが団体の活動を支えている。

団体ごとに見てみると(7ページ参照)、PTA、子どもクラブ、老人会、消防団、社会福祉協議会で「構成員の取組みが積極的」という回答が最多を占めている。一方民生委員児童委員連絡協議会や婦人会では「外部からのニーズの増加」が最多となっている。「構成員の増加」を活発になった理由に挙げている団体はPTA、子どもクラブ、老人会にあるが、いずれも少数である。



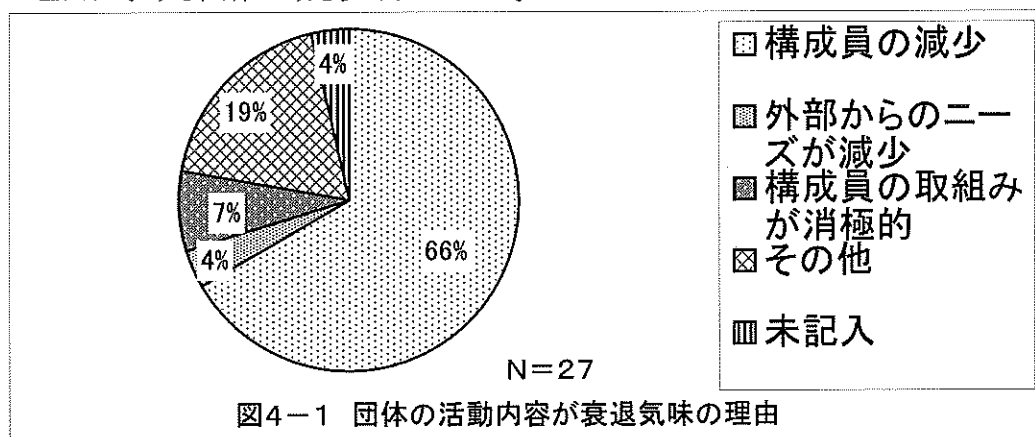
(4) 活動が衰退気味になった理由

反対に、活動が衰退気味になった理由を聞いてみると、「構成員が減少し、その結果活動内容が質・量とも減少した」が18件と最も多く、次いで「その他」が5件、「構成員の取組みが消極的になった」が2件、「外部からのニーズが減少した」と「未記入」がそれぞれ1件となっている。

構成員の減少は活動が衰退気味になったと答えた団体の3分の2が挙げており、一部の子どもクラブの中には単独での事業展開が困難になっている団体も存在する。

「その他」の回答には「役員のなり手がいない」、「構成員が多忙で行事に参加できない」という回答が見受けられた。

団体ごとに見てみると(8ページ参照)、PTA、子どもクラブ、老人会、婦人会で構成員の減少を衰退気味の理由に挙げる団体が最も多くなっている。

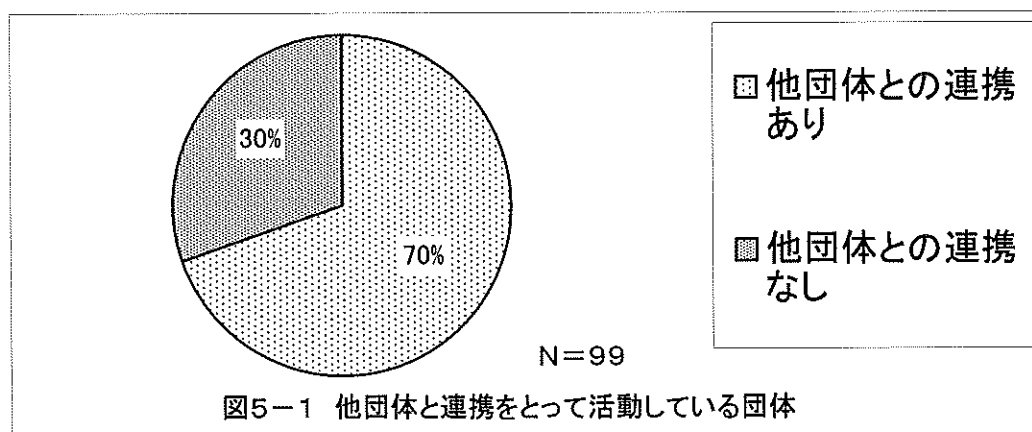


(5) 他団体との連携した活動

他団体との連携のもとに活動をしているか聞いてみた。7割の団体が何らかの形で他団体と連携を取って事業を行っている。

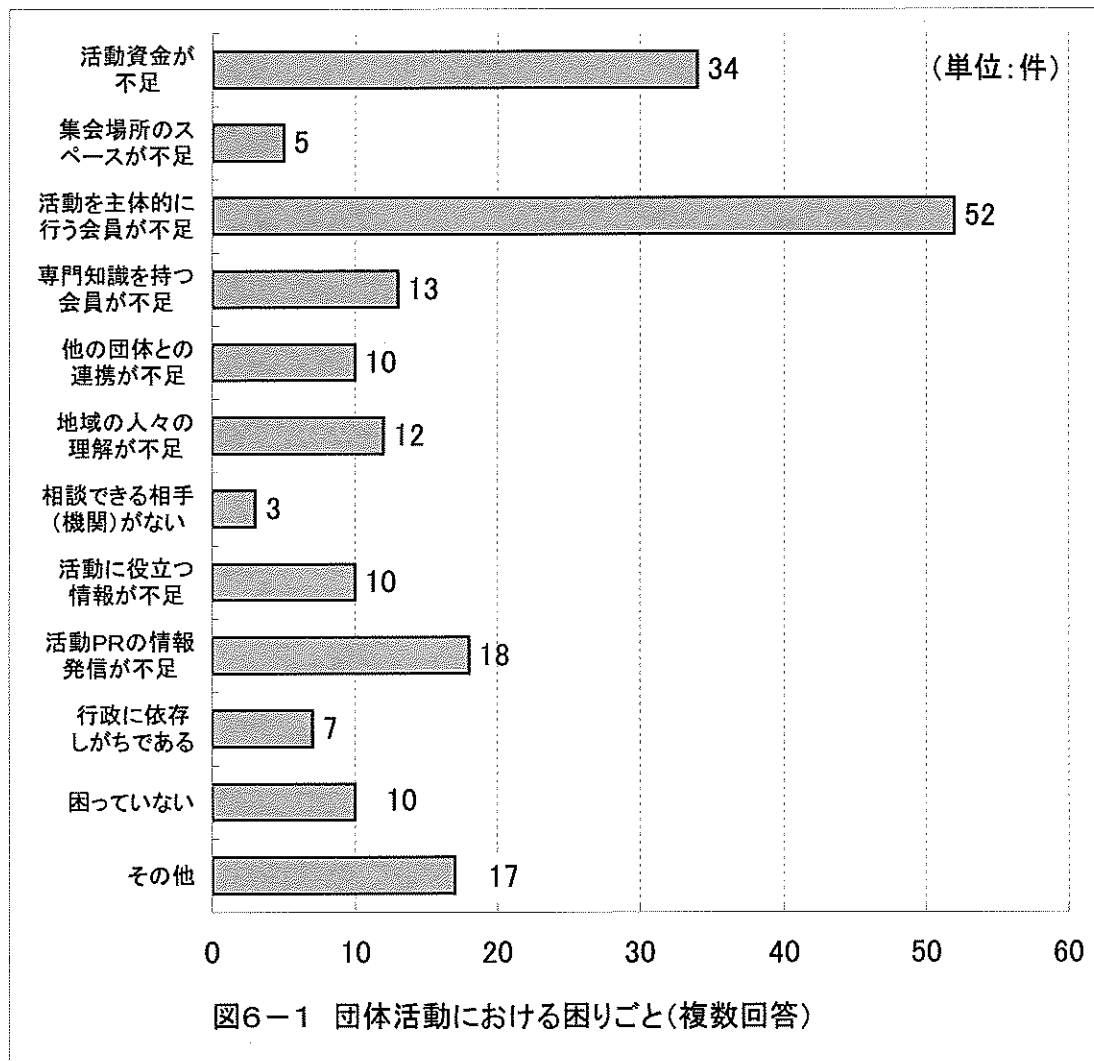
団体ごとに見てみると(9ページ参照)、いずれの団体も過半数の団体が他団体と連携をとって事業を行っているが、特に、民生委員児童委員連絡協議会、婦人会、交通対策協議会は連携を取って事業を実施している団体の数が8割を超えている。

連携の相手として、PTAでは各町区の単位PTAや子どもクラブ、子どもクラブでは同じ町区の自治会や老人会、民生委員児童委員連絡協議会、婦人会、社会福祉協議会は学校や地域の各団体などが挙げられているが、ほとんどは町内あるいは地区内の団体であり、連携は地区内で構成されている。



(6) 活動していく中での困りごと

活動上の困りごとを聞いてみた結果、以下のようになった(複数回答)。



活動を主体的に行う会員が少ないことを挙げる団体が最も多く、次いで活動資金の不足となっている。その他の回答の中には役員に関するものが多く、例えば役員のなり手がいない、役員の負担が大きい、といったことが挙げられている。

また、構成員の減少を危惧する声や、行政への依存体質などの問題を提起する回答もあった。

団体ごとに見てみると(10~14ページ参照)、PTA、子どもクラブ、老人会で「活動を主体的に行う構成員が不足している」という回答が突出しており、これらの団体では「その他」の項目で上記の役員に関する困りごとも多く、お世話をする役員と行事に参加する構成員の意識の違いが表れている。

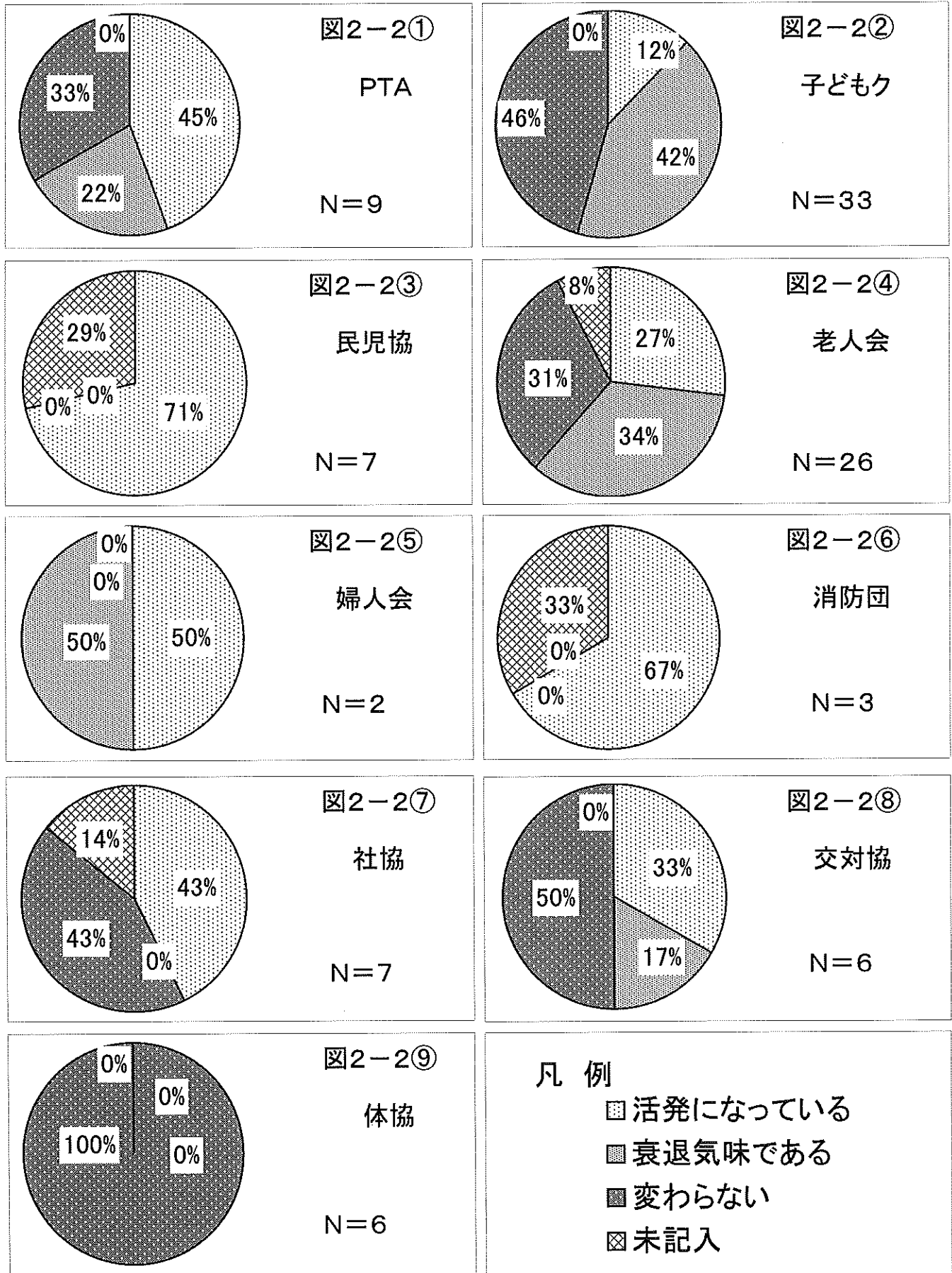
また、社会福祉協議会や交通対策協議会では活動資金の不足を挙げる団体が最も多く、行政に対し、活動助成金の増額を要望する団体も少なくない。

2 団体ごとの集計

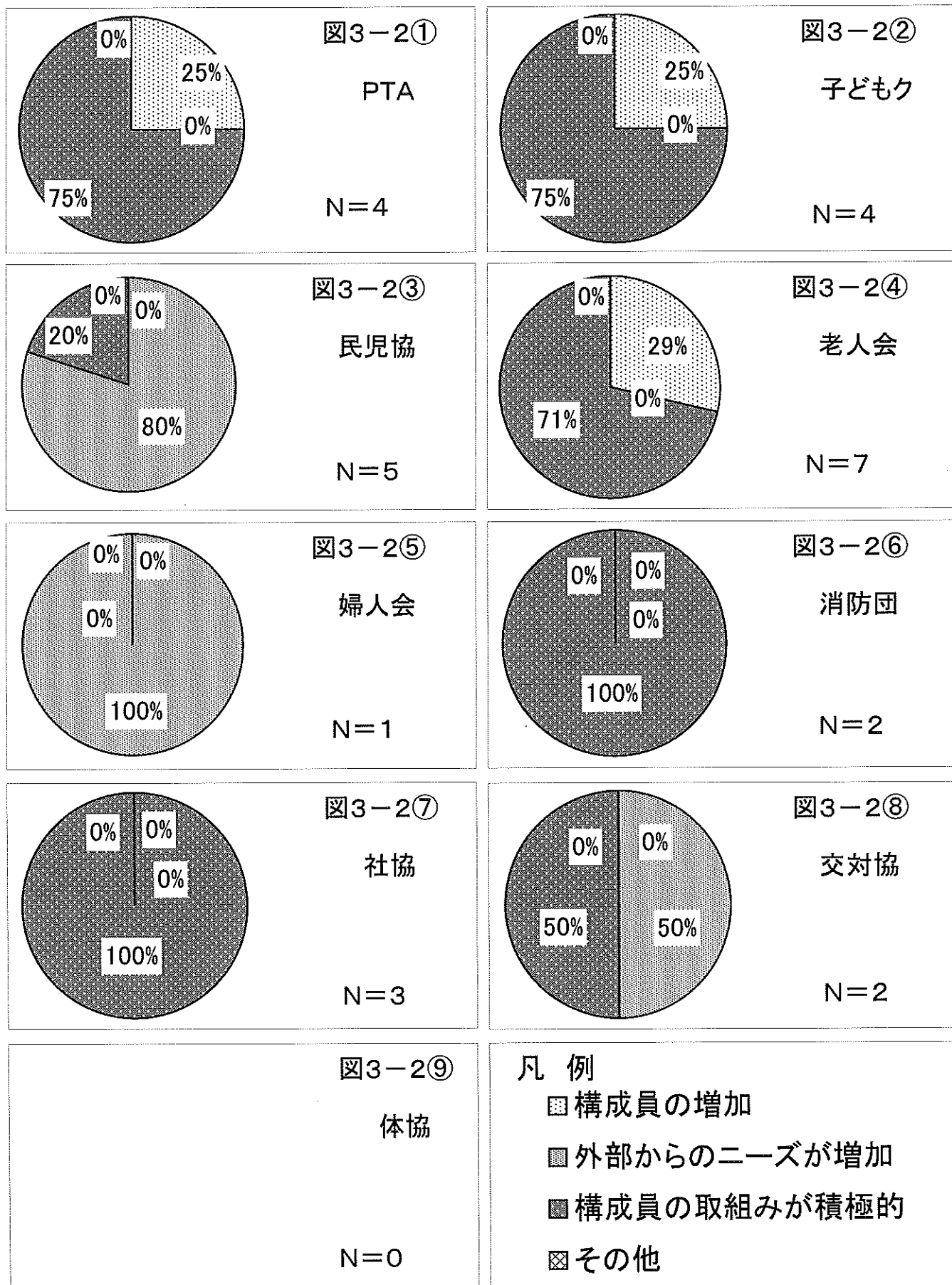
(1) 平成21年度に構成員数が変動した団体

<p>図1-2①</p> <p>PTA</p> <p>N=9</p>	<p>図1-2②</p> <p>子どもク</p> <p>N=33</p>
<p>図1-2③</p> <p>民児協</p> <p>N=7</p>	<p>図1-2④</p> <p>老人会</p> <p>N=26</p>
<p>図1-2⑤</p> <p>婦人会</p> <p>N=2</p>	<p>図1-2⑥</p> <p>消防団</p> <p>N=3</p>
<p>図1-2⑦</p> <p>社協</p> <p>N=7</p>	<p>図1-2⑧</p> <p>交対協</p> <p>N=6</p>
<p>図1-2⑨</p> <p>体協</p> <p>N=6</p>	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 前年度より増加 ▨ 前年度より減少 ■ 前年度と同数 ⊠ 不明

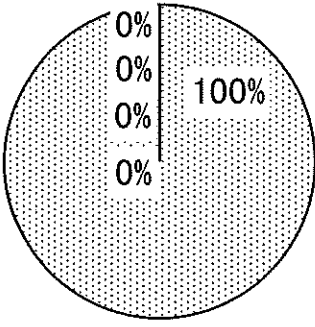
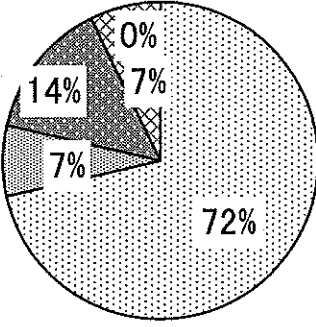
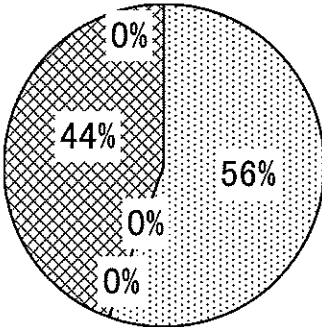
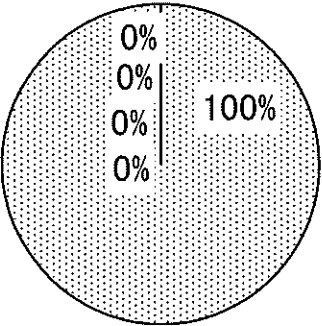
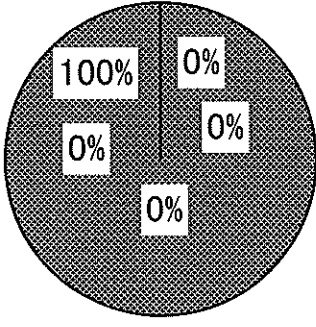
(2) 団体の活動の傾向



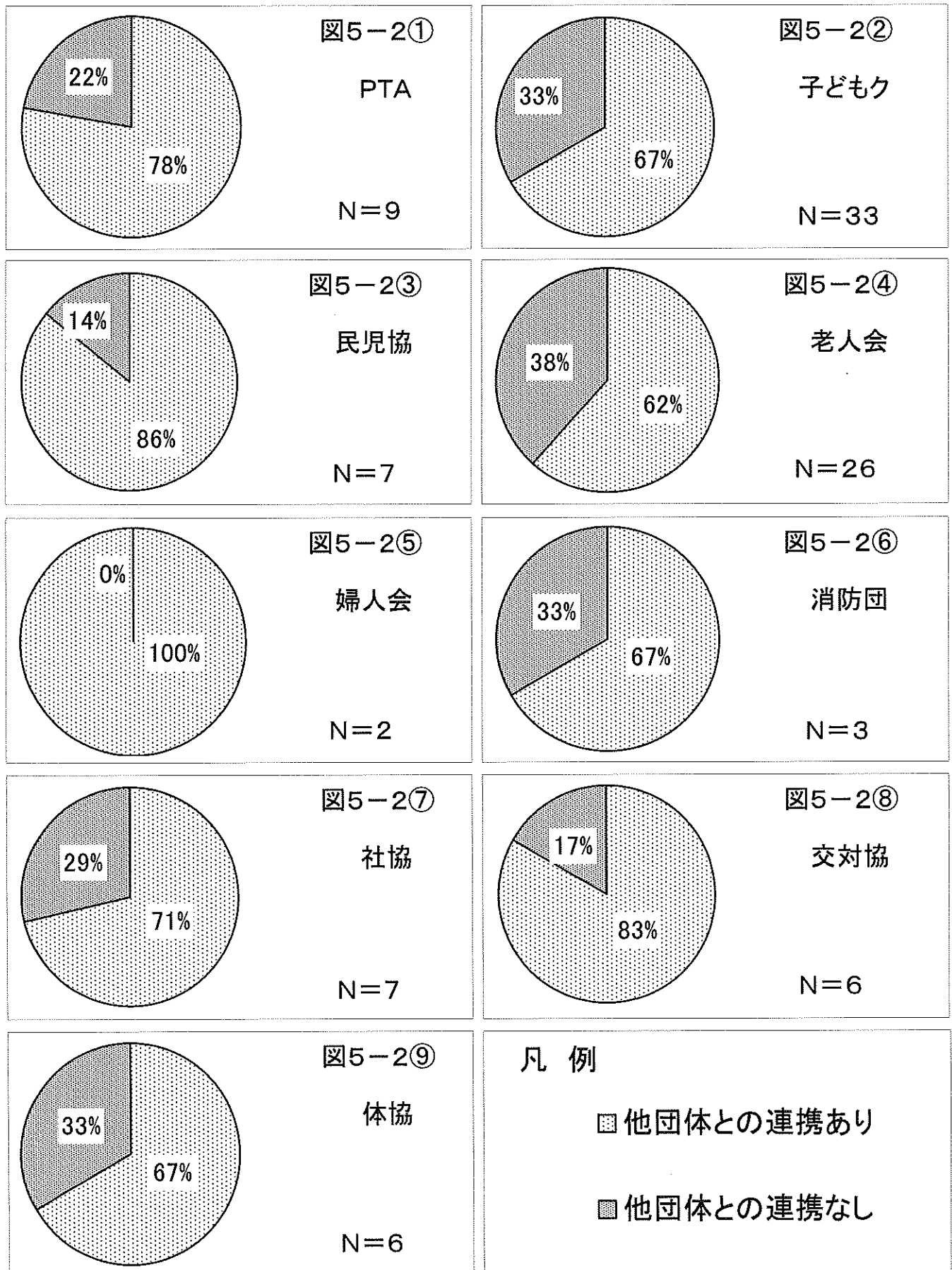
(3) 活動が活発になった理由



(4) 活動が衰退気味になった理由

 <p>図4-2① PTA N=2</p>	 <p>図4-2② 子どもク N=14</p>
<p>図4-2③ 民児協 N=0</p>	 <p>図4-2④ 老人会 N=9</p>
 <p>図4-2⑤ 婦人会 N=1</p>	<p>図4-2⑥ 消防団 N=0</p>
<p>図4-2⑦ 社協 N=0</p>	 <p>図4-2⑧ 交対協 N=1</p>
<p>図4-2⑨ 体協 N=0</p>	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 構成員の減少 ■ 外部からのニーズが減少 ■ 構成員の取組みが消極的 ⊠ その他 ■ 未記入

(5) 他団体との連携した活動



(6) 活動していく中での困りごと

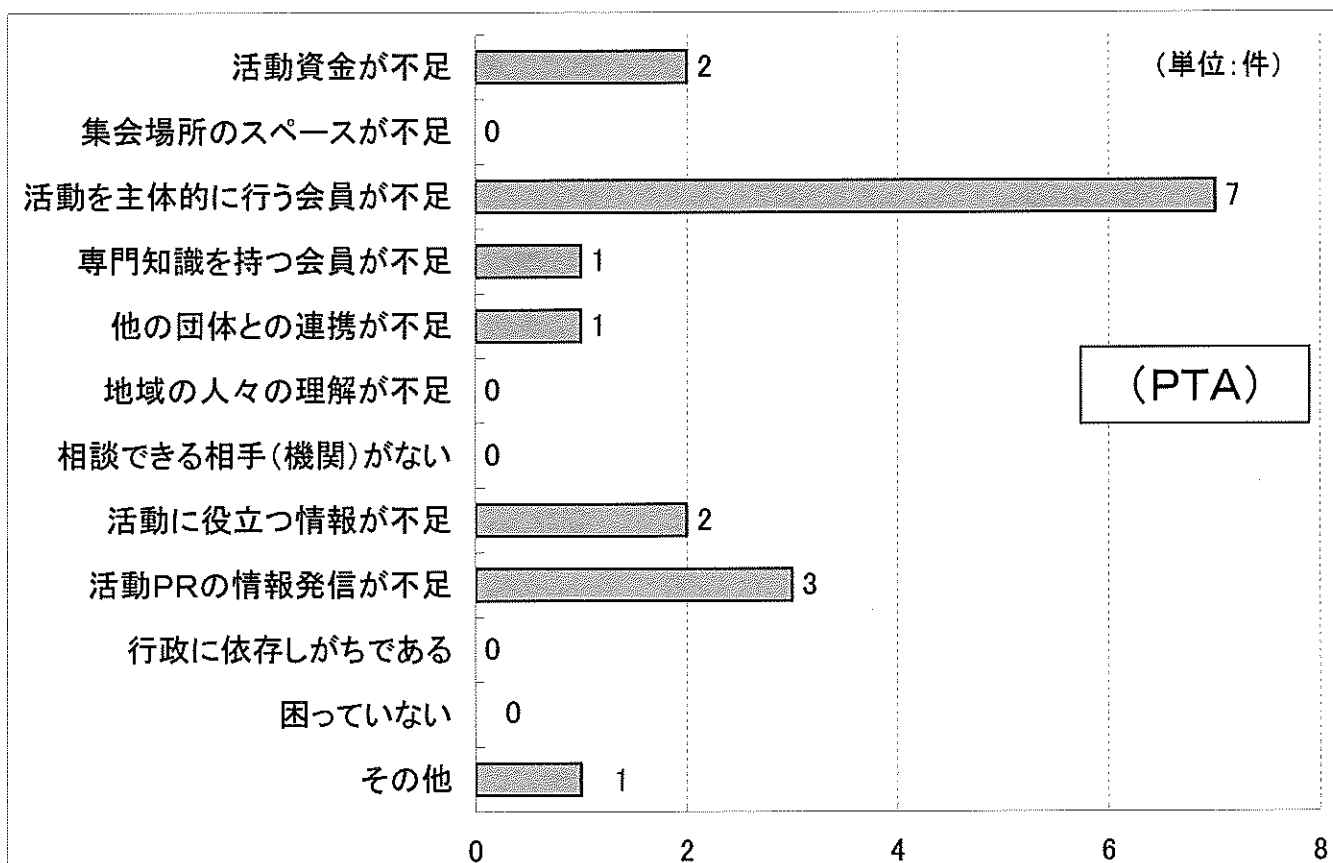


図6-2① 団体活動における困りごと(複数回答)

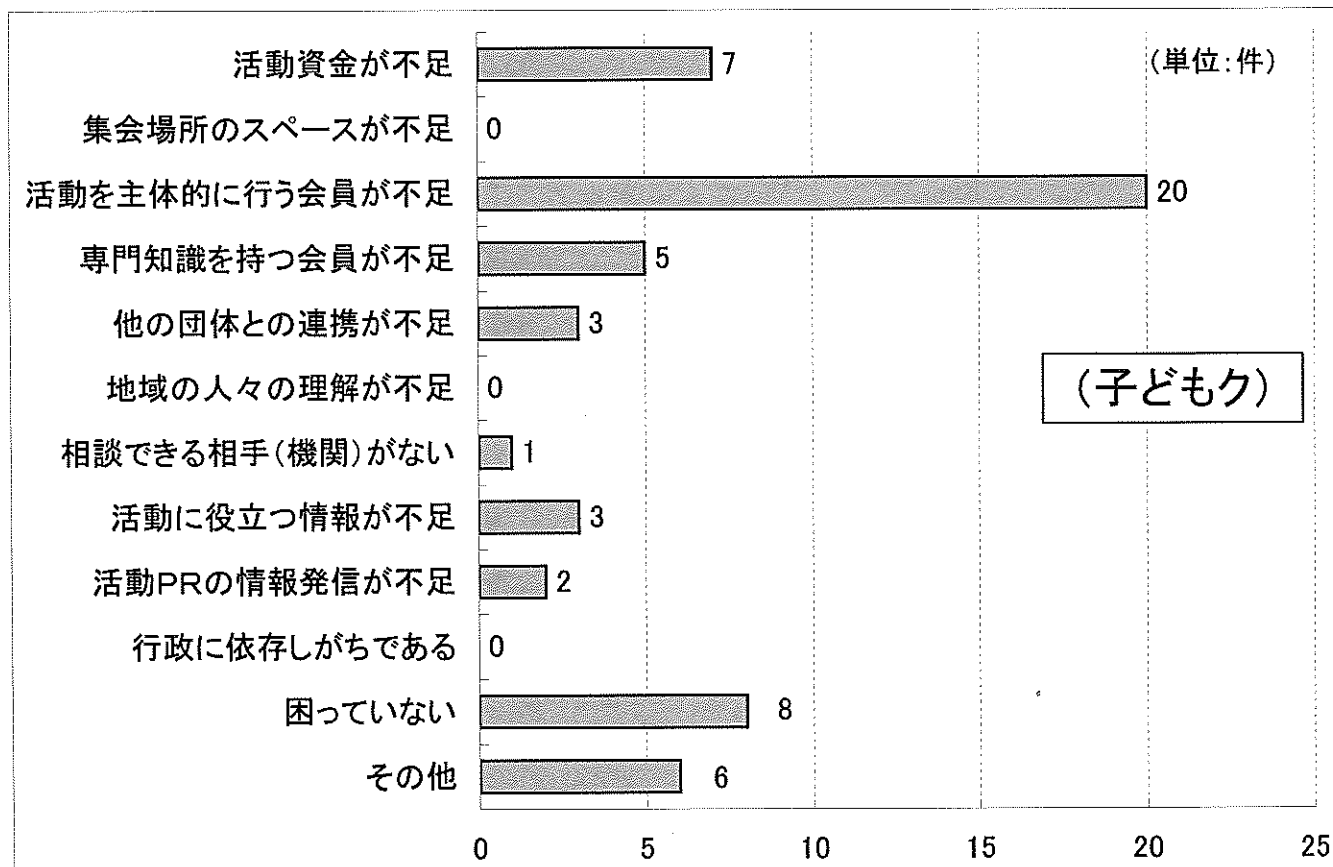
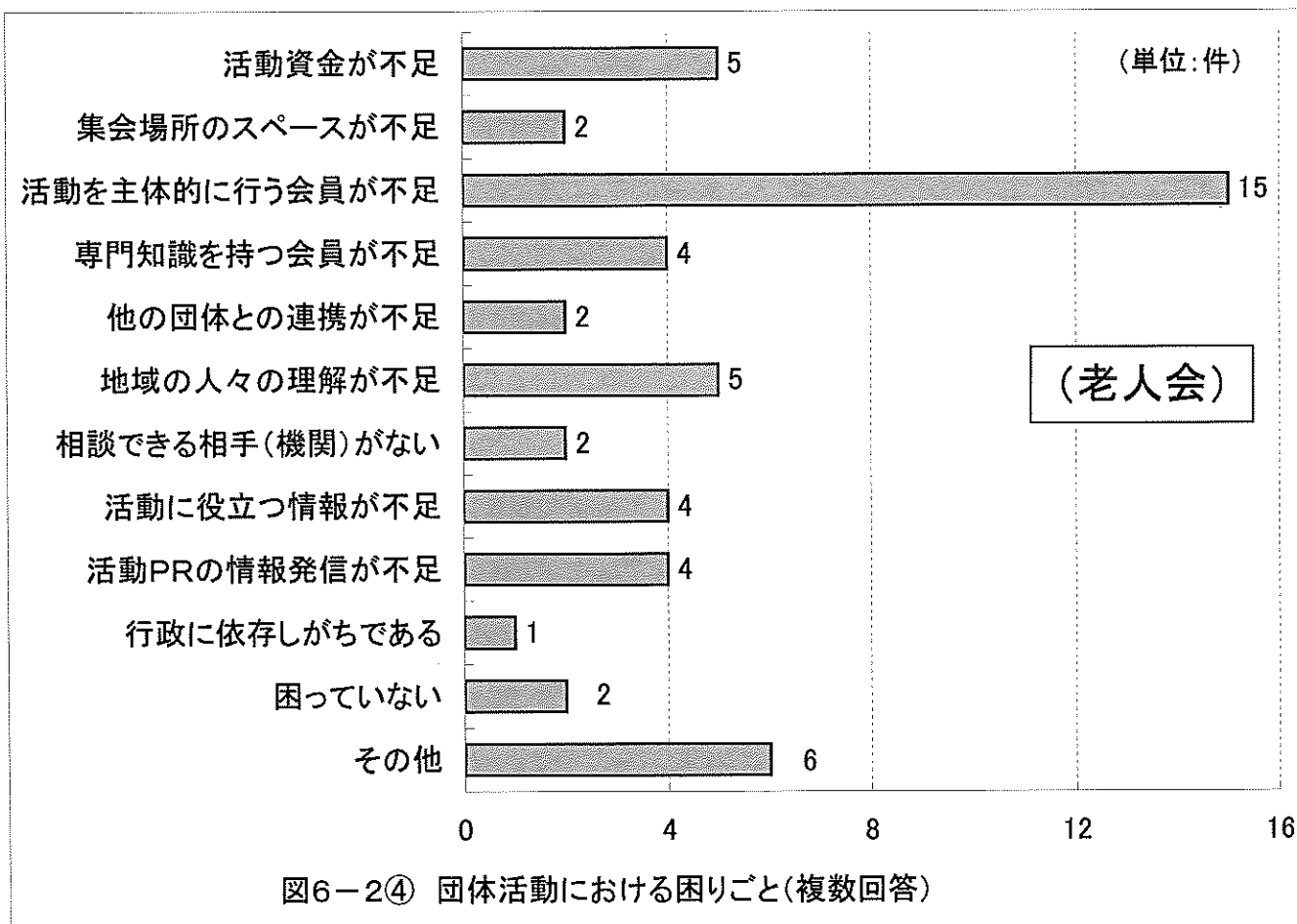
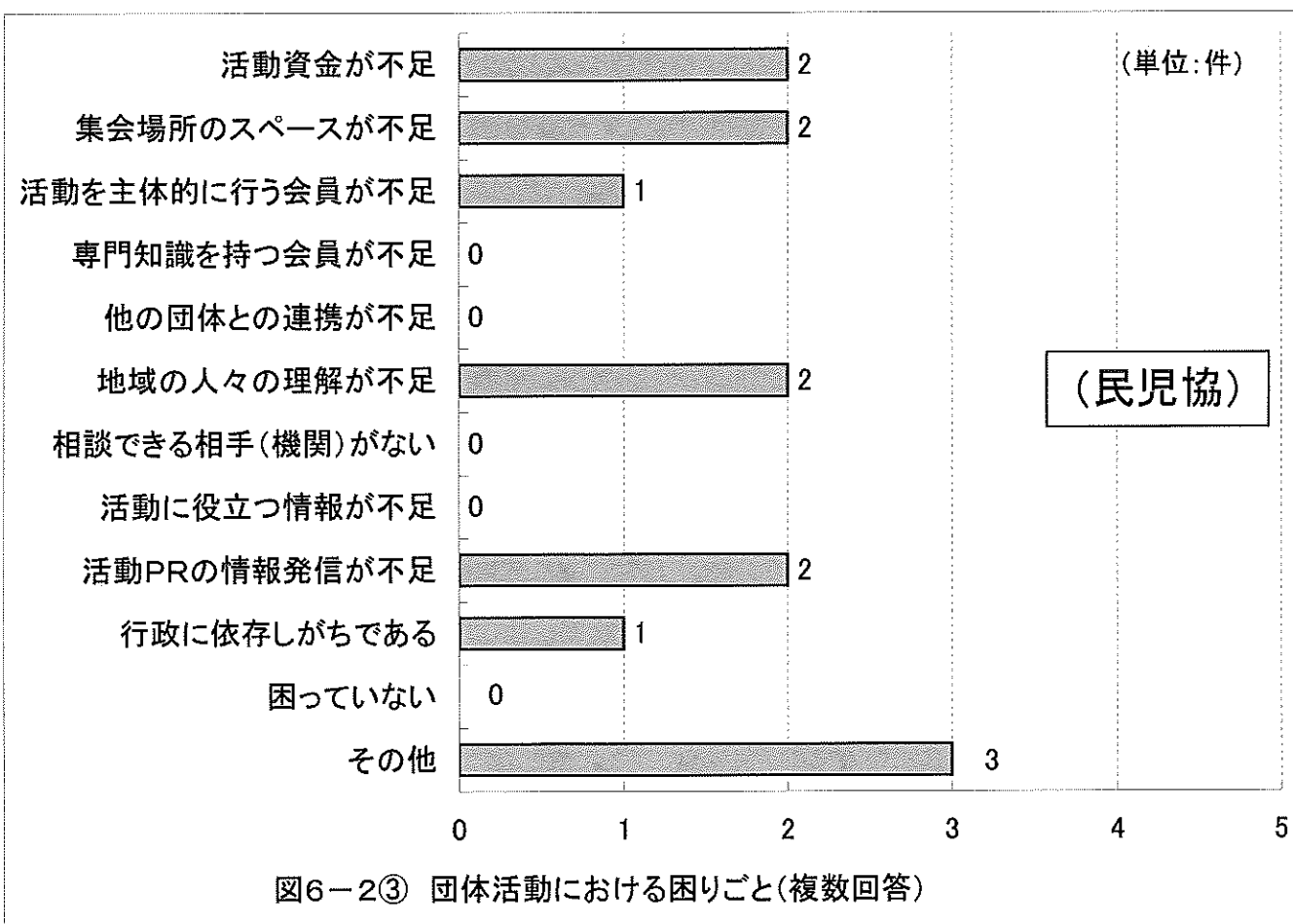


図6-2② 団体活動における困りごと(複数回答)



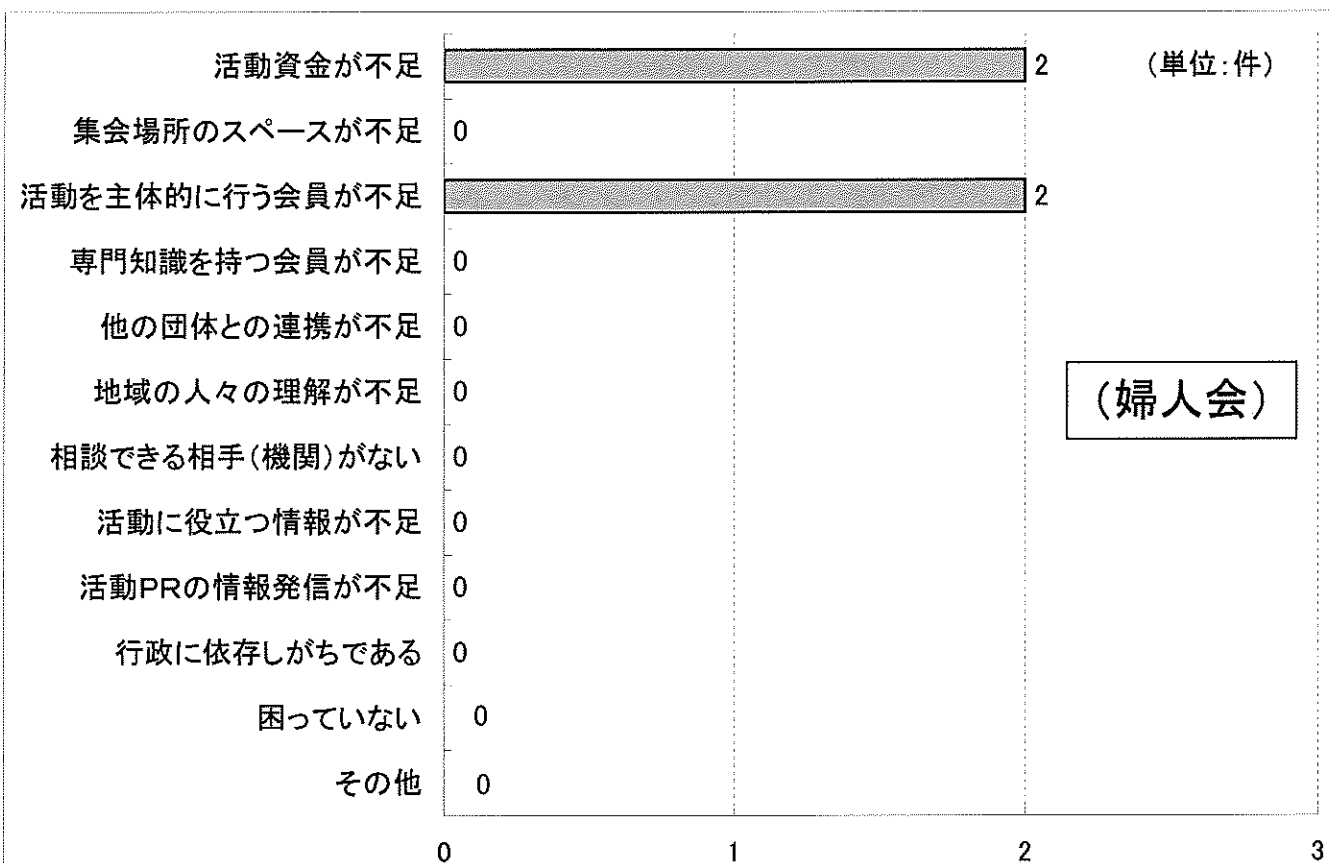


図6-2⑤ 団体活動における困りごと(複数回答)

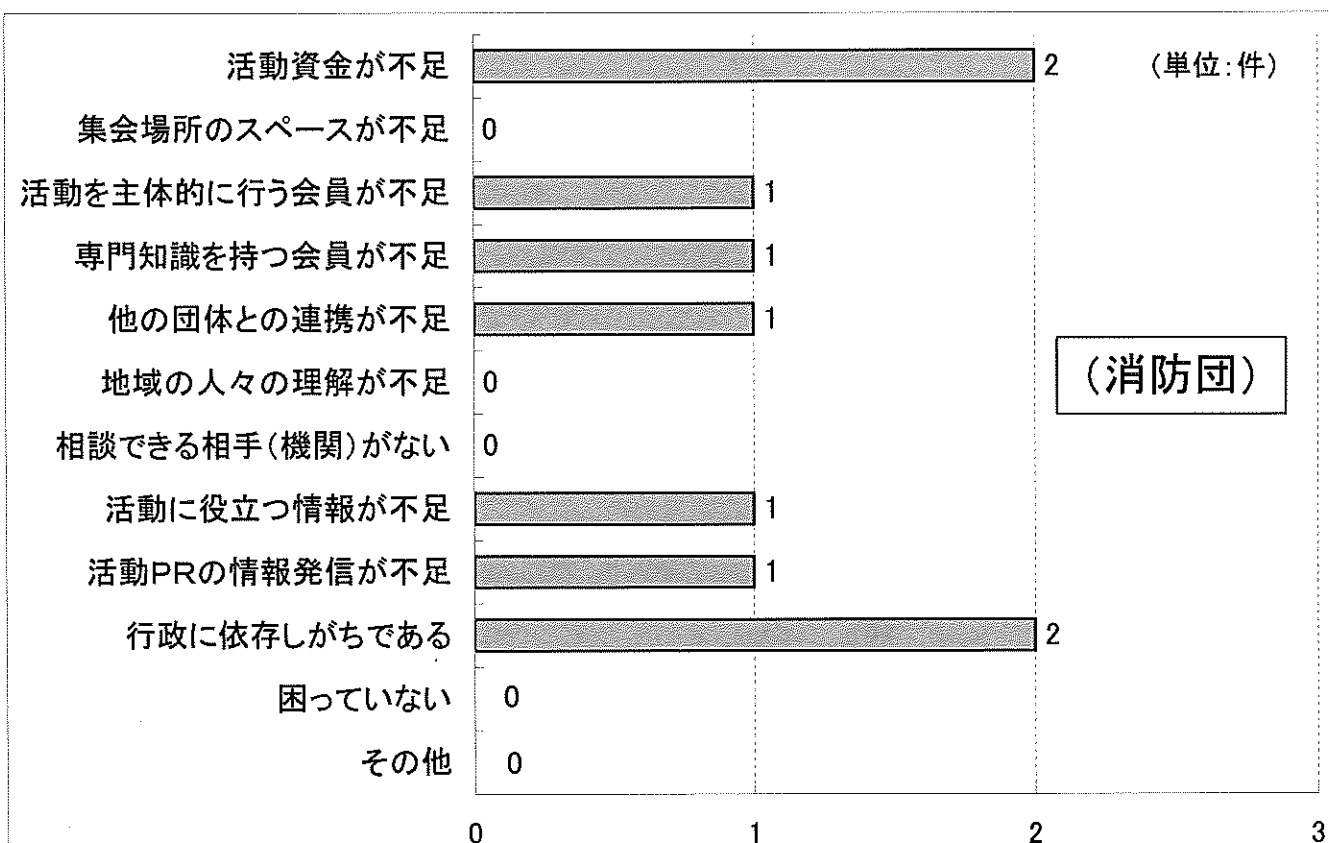
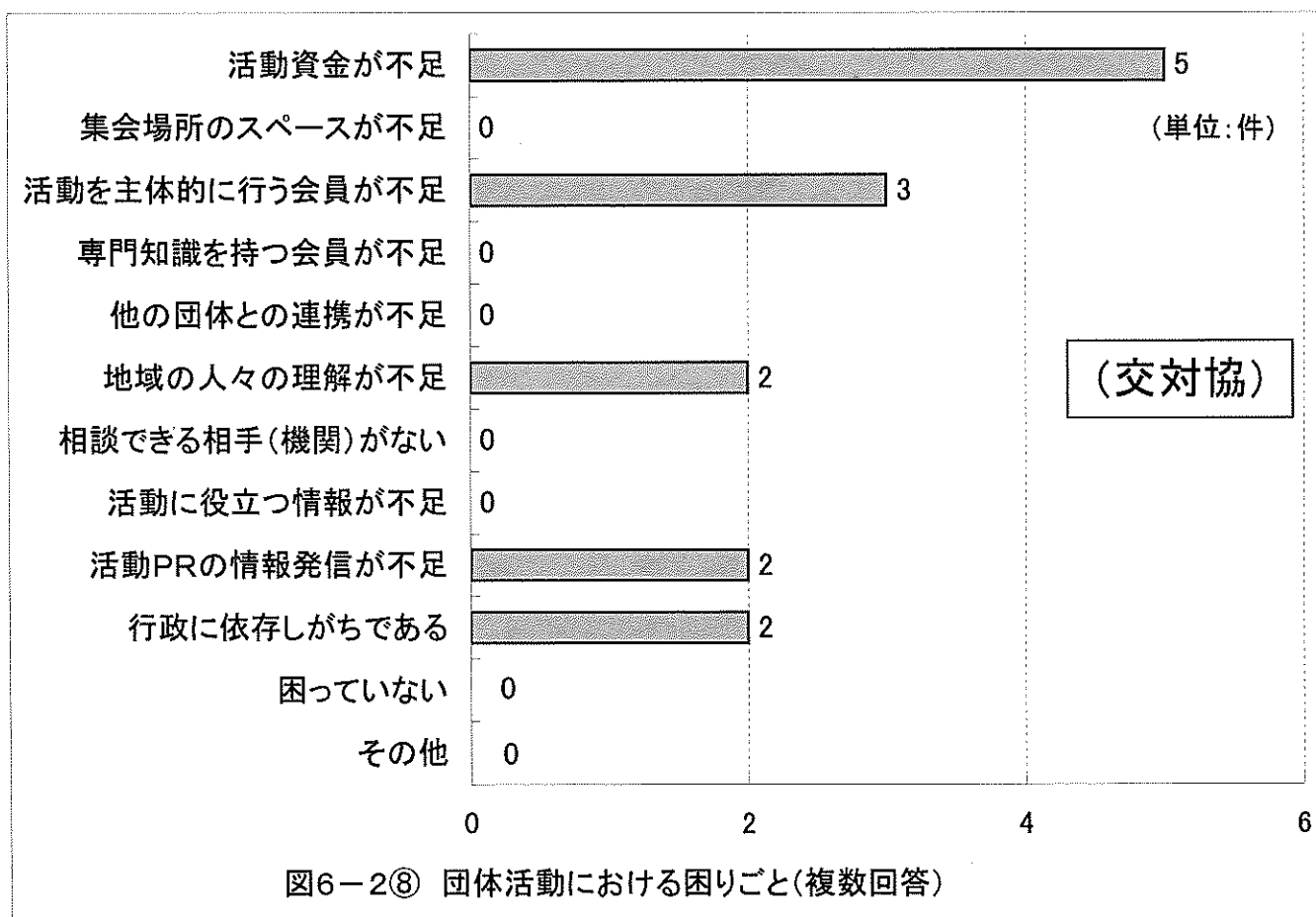
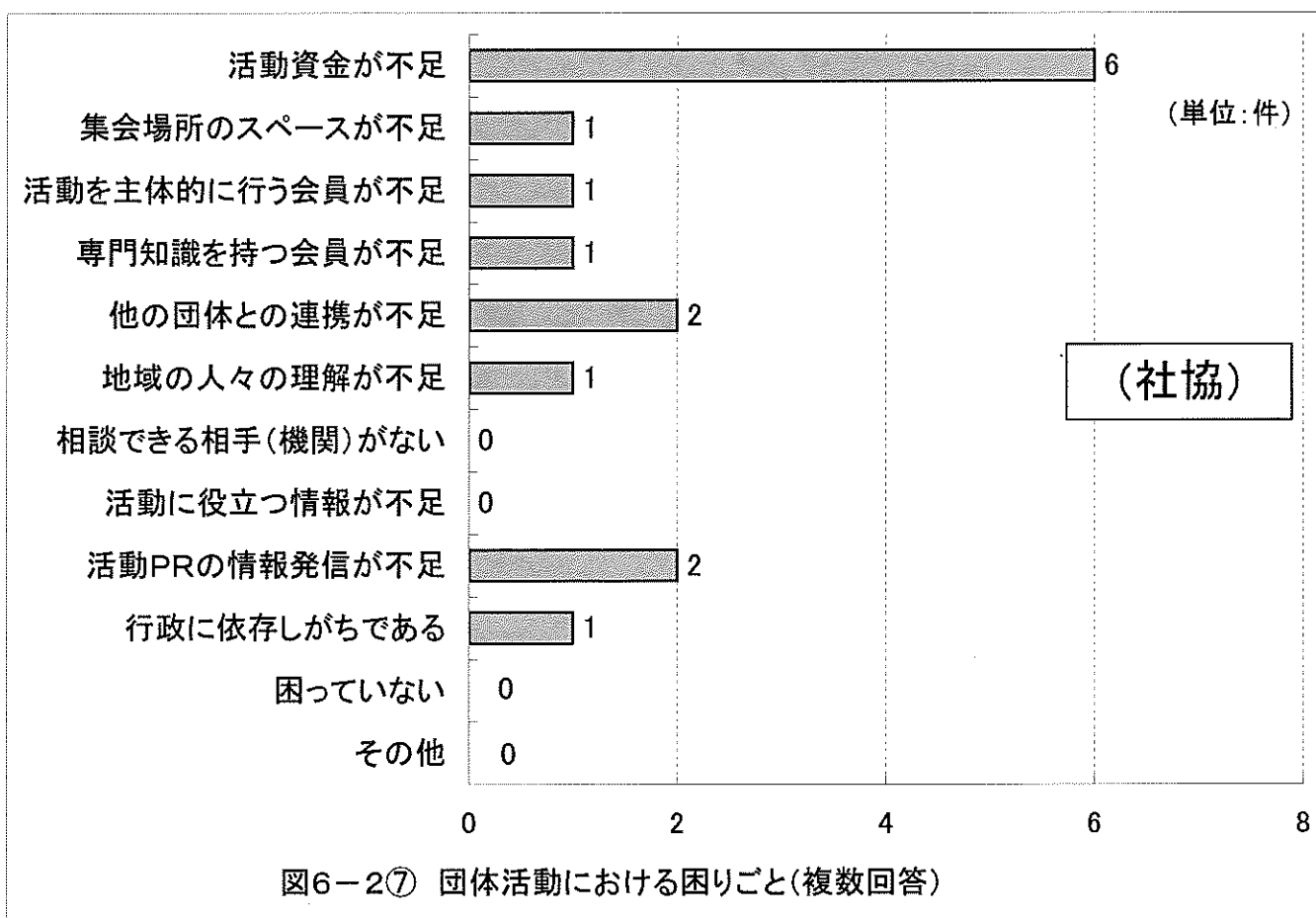


図6-2⑥ 団体活動における困りごと(複数回答)



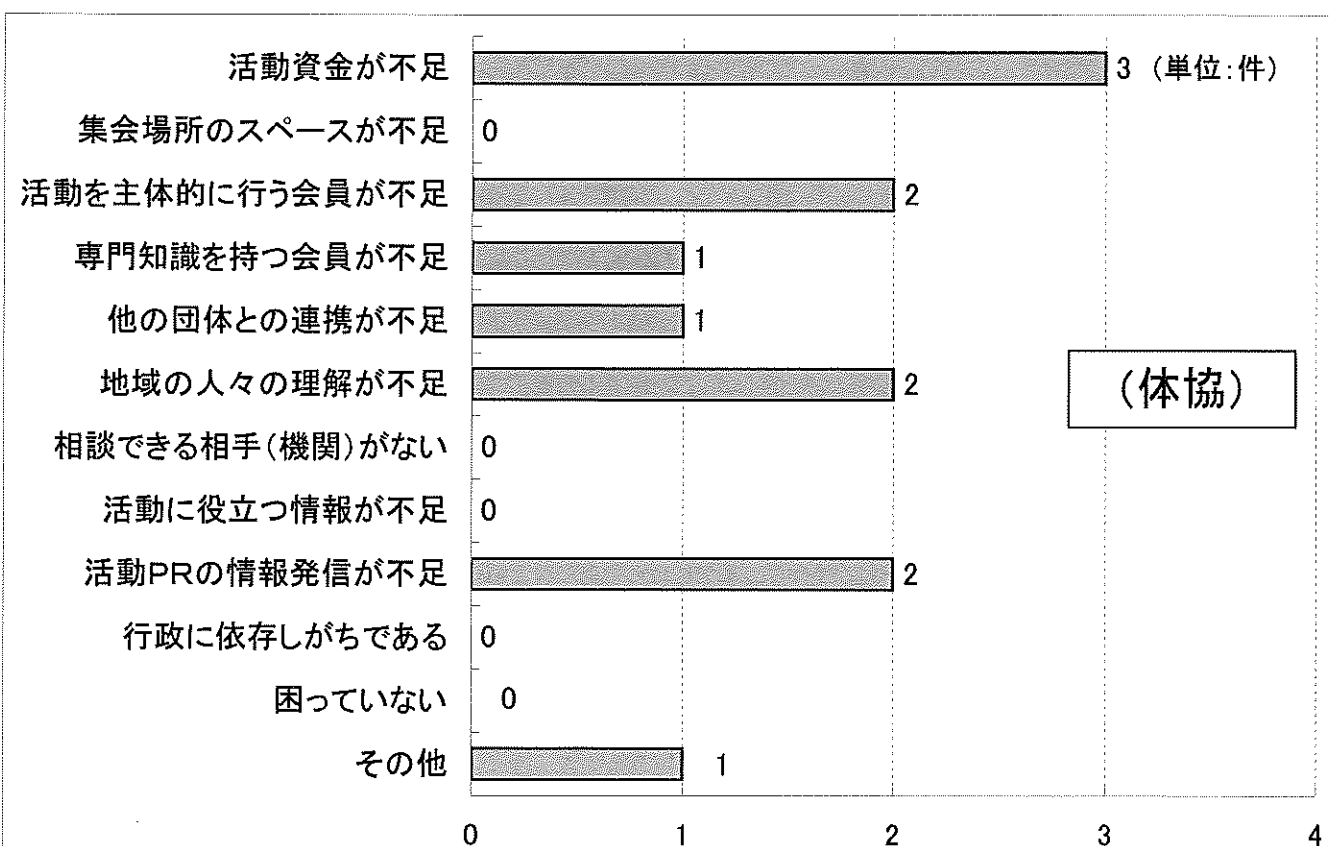


図6-2⑨ 団体活動における困りごと(複数回答)

2. 活動内容が衰退気味である。

(理由)

- ① 構成員(会員)が減少し、その結果活動内容が質・量とも減少した。
- ② 外部から貴団体の活動に対するニーズが減少した。
- ③ 指導者や構成員(会員)の取り組みが消極的になった。
- ④ その他()

3. ここ数年活動内容はあまり変わらない。

問 6 貴団体は他団体と連携した活動を行っていますか。行っている場合はその内容もお答えください。

1. 連携した活動を行っている。
2. 連携した活動は行っていない。

↳ その代表的な活動を5つまで内容を教えてください。

例)	連携の相手	連携の関係	事業名及びその内容
	子供クラブ	従	廃品回収事業 再利用できる資源を回収

注)「連携の関係」は、貴団体の主催事業に他団体の協力を得る場合には「主」、貴団体が他の主催団体に協力する場合には「従」、共催の場合には「共」としてください。

問 7 貴団体の最新の活動資金決算の内訳について、以下の項目ごとにその割合を記入してください。

(合計が100%になるように端数調整をして小数第1位までご記入ください。)

1. 会費、入会金収入
2. 寄付金収入
3. 独自事業による収入
4. 行政からの補助金、委託料等
5. 自治会など助成団体からの助成金
6. その他

問 8 活動していく中での困りごとについて、該当する項目の番号を三つまで記入してください。

1. 活動資金が不足している。
2. 集会場所のスペースが不足している。
3. 活動を主体的に行う会員が不足している。
4. 活動に必要な専門知識を持つ会員が不足している。
5. 他の団体(自治会、市民活動団体等)との連携が不足している。
6. 地域の人々からの理解が得られていない。
7. 問題が発生したときに相談できる相手(機関)がない。
8. 活動に役立つ情報が不足している。
9. 活動をPRするための情報発信が不足している。
10. 行政に依存しがちである。
11. 困っていない。
12. その他()

問 9 問8であげた活動をしていく中での困りごとについて、どうすれば解決できると考えますか。具体的にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

先進自治体の状況について

- 宗像市、福津市、福岡市、嬉野市 の状況

平成21年9月3日

鳥 栖 市

地域自治組織(地域コミュニティ)導入自治体の状況

項目		宗像市	福津市	福岡市	嬉野市
協議会	①名称	コミュニティ運営協議会	郷づくり推進協議会	自治協議会	コミュニティ運営協議会
	②区域(領域)	概ね小学校区(15校)	概ね小学校区(7校)	小学校区(149校)	概ね小学校区(8校)
	③設置数	13地区/13地区 平成12~18年度で全地区設置終了 2地区については、2小学校区で1地区を設置	8地区/8地区 平成19~20年度で全地区設置終了 2地区については、1小学校区を2地区に分けて設置	145地区/149地区 平成16年度から設置を開始	3地区/7地区 平成20年7月に準備会を立ち上げ、平成21年7月に3地区設置 平成22年度に2地区、23年度に2地区設置する予定
	④構成団体	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長会 ・小中学校PTA ・民生委員児童委員会 ・交通安全協会 ・消防団 ・市体育指導員会 ・区こども会 ・青少年指導員会 ・老人クラブ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・区長会 ・小中学校PTA ・民生委員児童委員会 ・交通安全協会 ・消防団 ・市体育指導員会 ・区こども会 ・青少年指導員会 ・老人クラブ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会 ・小中学校PTA ・交通安全推進委員会 ・体育振興会 ・子ども育成連合会 ・青少年育成連合会 ・老人クラブ連合会 ・女性協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・区長会 ・小中学校PTA ・民生委員児童委員会 ・交通安全協会 ・消防団 ・体育部会 ・老人会 ・婦人会
		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉会 ・食生活改善推進会 ・JA ・商工会 ほか 	<ul style="list-style-type: none"> ・こみ減量リサイクル推進会議 ・献血推進協力会 ・衛生連合会 ・自主防災組織 ・防犯協会 ・母子福祉会 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校 ・幼稚園、保育園 ・各区公民館 ・交通指導員会 ・防犯協会 ・生産組合 ・NPOなど 	<p>※構成団体については、各地区の区長会により選定する。そのため、地区によって構成団体が違う。医療機関や福祉施設が入っている地区もある。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉会 ・食生活改善推進会 ・JA ・商工会 ほか 	<p>※構成団体については、各地区によって、多少の違いがある。</p>	<p>※太字の8団体については、”活力あるまちづくり支援事業補助金”との関係で、原則、加入が必須となっている。</p>	

協議会	項目	宗像市	福津市	福岡市	嬉野市
⑤組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ○部会型 -公民館活動部会 -青少年育成部会 -健康福祉部会 -環境整備部会 -地域づくり部会など 	<ul style="list-style-type: none"> ○部会型 7地区 -地域福祉部会 -子育て支援教育部会 -安全安心部会 -環境景観部会など ○連合型 1箇所 推進協議会の規模が小さいた め 	<ul style="list-style-type: none"> ○部会型 約45地区 ○連合型 約100地区 	<ul style="list-style-type: none"> ○部会型 -総務広報部会 -公民館活動部会 -青少年育成部会 -健康福祉部会 -環境整備部会 -地域づくり部会 	

項目	宗像市	福津市	福岡市	嬉野市
活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター 7箇所 (既存施設改修4箇所、新築3箇所) ・地区公民館 3箇所 ・公共施設 3箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター 1箇所 ・地域交流センター 1箇所 ・地区公民館 1箇所 ・児童館 1箇所 ・小学校空き教室 2箇所 ・団地集会所 1箇所 ・自治公民館や役所の会議室を使用 1箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 ・空港周辺共同利用会館 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 1箇所 ・地区研修センター(農林補助施設) 2箇所
①拠点施設の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティセンター コミュニティづくりの拠点として位置付けし、運営管理等を行っている。 ○地区公民館 社会教育施設の位置付けだが、教育委員会から市民協働部へ所管替をおこない、運営管理等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティセンター、地域交流センター 地域交流、地域づくりの推進拠点として位置付けし、運営管理等を行っている。 ○地区公民館 社会教育施設の位置付けだが、教育委員会から市民生活部へ所管替をおこない、運営管理等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地区公民館 社会教育施設の位置付けだが、教育委員会から地域支援部へ所管替をおこない、運営管理等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地区公民館、地区研修センター 各施設所管は、教育委員会、農林担当課のままである。
③施設管理の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティセンター コミュニティ運営協議会が、指定管理者として管理・運営 ○地区公民館等 コミュニティ運営協議会に、業務委託をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市において管理・運営(団地集会所、自治公民館を除く) ※コミュニティセンターについては、今後、指定管理者制度導入を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 市において管理・運営 ※組織が新しいため、施設の指定管理者制度導入については、今後検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ運営協議会に業務委託をしている。

項目		宗像市	福津市	福岡市	壱野市
活動補助 金等	①名称	まちづくり交付金	郷づくり推進事業交付金	活力あるまちづくり支援事業 補助金	業務委託料
	②交付額	82,208千円(平成21年予算 額)	16,000千円(上限額)	474,600千円(21年度予算 額)	
	③交付基準	均等割3.5:人口割5.5:面積割 1.0 1箇所平均:6,300千円	1協議会に対し、推進協議会 での各種事業費として、合計 額200万円を上限として交付 ※旧福岡町時代からの「わが まちづくり支援事業補助金」を 19年度から当該交付金に変 更	小学校区人口 2,000人以下 230万円 5,000人以下 270万円 10,000人以下 310万円 15,000人以下 340万円 15,000人以上 370万円	○事務局長、役員報酬、各部 会活動経費、事務経費の積算 額を業務委託料として支給 ○備品については、市でリ スをして協議会へ貸与
	④統合した補助金の名 称等	①自治会長報酬 ②子ども育成連合会補助金 ③青少年育成協議会補助金 ④地区青少年指導員会活動 協力費 ⑤自治公民館連合会補助金 ⑥食生活改善推進会事業費 ⑦ヘルス推進員地区活動費 ⑧分別排出協力費交付金 ⑨クリーンの会活動費補助金 ⑩街区公園管理費補助金 ⑪地域福祉推進団体運営事 業費補助金 ⑫街路灯設置補助金 ⑬衛生組合連合会補助金 ⑭青少年指導員報償費 ⑮ヘルス推進員報償費 ⑯食進会地区料理費用	各種団体補助金などの、統合 はしていない。 ※今後、人口割の検討や各種 補助金の統合を検討していく。	①交通安全推進委員会補助 金 ②体育振興会補助金 ③女性団体組織化補助金 ④青少年健全育成連合会補 助金 ⑤ごみ減量リサイクル推進会 議補助金 ⑥献血推進協力会補助金 ⑦保健活動助成金 ⑧動物適正飼育啓発助成金 ⑨町内清掃事業市民活動補 助金 ※上記補助金等の各地区あ たりの平均交付額 約98万円	○7地区すべてに運営協議会 が立ち上がった後に、委託か ら各種補助金等を統合した交 付金へと見直す予定

項目	宗像市	福津市	福岡市	嬉野市
行政の窓口体制	<p>実施済</p> <p>○市民協働部 コミュニティ課において、地域コミュニティの窓口として対応</p>	<p>—</p> <p>○地域生活部 郷づくり支援室において、地域コミュニティの窓口として対応</p> <p>○統合補助金(交付金)制度が無いため、従前どおり、各団体が各担当課と対応している。</p>	<p>実施済</p> <p>○7区の地域支援課が、地域コミュニティの窓口として対応</p>	<p>—</p> <p>○企画部 地域づくり課が地域コミュニティの窓口として対応</p> <p>○統合補助金(交付金)制度が無いため、従前どおり、各団体が各担当課と対応している。</p>
人的支援体制	<p>コミュニティ課職員6人で、1人2～3地区の担当として、週1日終日コミュニティ協議会に勤務している。</p>	<p>○1地区あたり、4～6人の管理職による地域担当職員を配置し、まちづくり推進に係るための情報提供や助言、行政への提言や苦情を把握し、地域の自立や活性化を図る。</p> <p>○郷づくりマネジャーとして、退職職員を再任用し、週3日協議会へ配置(4地区配置)</p> <p>○郷づくりマネジャーがいない地区へは、郷づくり支援室職員が週2日程度郷づくり推進協議会へ勤務している。</p>	<p>○地域支援課職員が、1人当たり3～4地区を担当し、週1日程度、自治協議会へ勤務している。</p>	<p>○地域づくり課職員2名で、週半日程度、コミュニティ運営協議会へ勤務している。</p>

第 2 回 鳥栖市まちづくり検討委員会

地域自治組織の検討について

平成 2 1 年 9 月 3 日

鳥 栖 市

1. 市民協働が必要となった現状

①地域の状況

地域では、自主防災組織の確立や地域での分別収集の取り組み、さらには、地域における子どもの安全対策など、それぞれの地域課題の解決に向け、地域の実情に応じた取り組みが地域において進められています。

一方、流入人口の増加による「都市化」の傾向は著しく、自治会加入率や地域行事への参加率の低下等により、地域意識の希薄化が進んでおり、子どもクラブや婦人会、さらには老人クラブなど地域を担ってきた地縁的組織の存続が危機的状況に陥っている状況があります。

②行政が担う事務の限界

市民ニーズの多様化・高度化、少子高齢化などが進むなか、今後も、公共のサービスの質を維持し、公共のサービスのすべてを行政のみが担うことには、限界があります。

また、社会情勢の変化に伴って、地域において自主的な防災、防犯活動等への取り組みが見受けられている現状は、もはや、行政が行う画一的なサービスの提供では、多様化・高度化するそれぞれの地域の状況に対応できないことを物語っています。

2. 市民協働の目的

今日まで、多岐にわたって行政が担ってきた「公共」の分野において、市民や市民活動団体等による「新たな公共」を創出し、市民が誇りを感じ、暮らしやすい地域社会を目指し、次世代に責任を持ってしっかりと引き継いでいける活力あふれ住みよいまちづくりを進めるためには、市民が鳥栖市を担う一員であるという認識をもって、市民と市が共に知恵を出し合い、社会的課題解決に向けた自主的・主体的な参画による市民相互及び市民と行政との協働によるまちづくりを進めていくことにより、「市民満足度」を高め、「地域力」を高揚させ、「市民自治の確立」を目指します。

3. 市民協働の効果

社会的課題解決に向けた自主的・主体的な参画による市民相互及び市民と行政との協働によるまちづくりを進めることにより、次のような効果が期待できます。

①市民にとっての効果

協働により、市民ニーズにあったサービスの享受、サービスの選択肢の拡大、市民主体のまちづくりが期待できます。

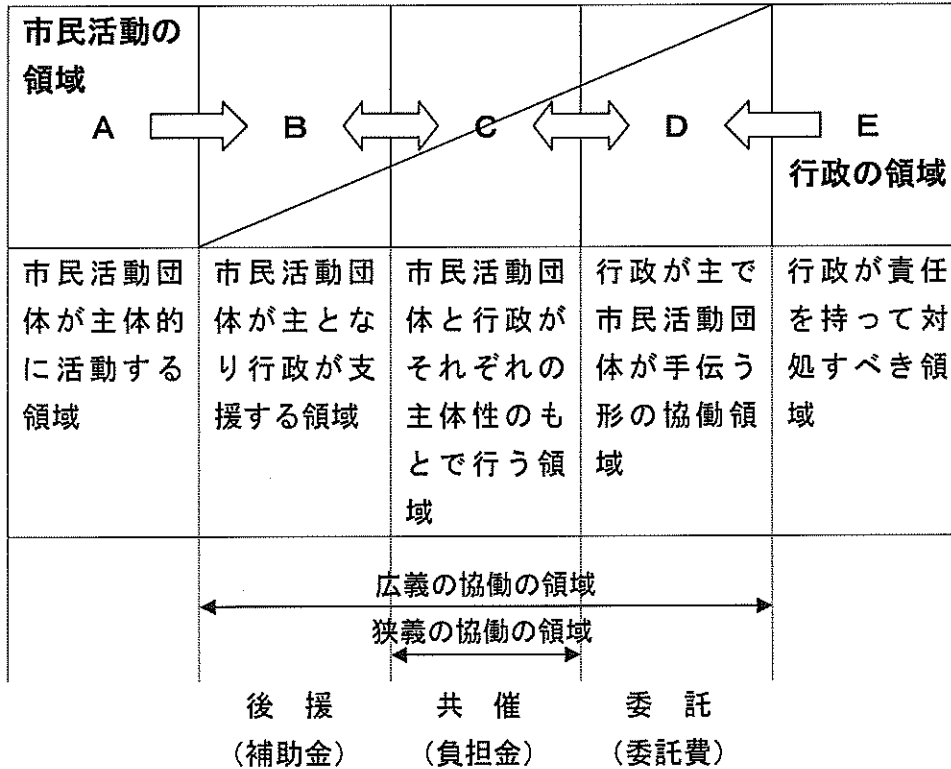
②市民活動団体にとっての効果

協働により、活動基盤が安定し、団体や団体の活動に対する社会的認知度が向上するという効果が期待できます。

③行政にとっての効果

協働により、「公共サービスは行政が担う」という考え方から脱却し、これまでの事業のあり方を見直す契機となり、効率的な行政運営につながることを期待できます。

協働の5つの段階 (出典：日本NPOセンター・山岡義典氏による)



4. 地域自治組織（地域コミュニティ）の必要性・役割・効果

地域コミュニティの設置は、前述の市民協働の効果を引き出すための手段となります。

・必要性

- 少子高齢化や核家族化、都市化の進展などの急激な社会的変化に伴い、住民ニーズや行政への要求が多様化しており、このため単位自治会や単位各種団体では、対応できない課題が生まれています。

そこで、このような課題を解決するために、広域での、地域自治組織の構築を行う必要性が生じています。

- 急激な社会変化に対応したまちづくりの推進のためには、これまでの行政だけの対応では限界があり、市民参加を基本とした地域住民と行政との協働したまちづくりが重要となっています。

・役割

- 地域の課題について、自ら考え、決定し、解決すること
 - ・ 防犯や防災などの、広域的な対応が必要なものや、各団体単独では解決できない課題などの取組みを行うこと。
 - ・ 構成する各種団体などが連携することにより、担い手の確保や各団体や地域の人材育成、活性化が促進されること。
- 「まちづくり計画」の策定
 - ・ 地域を知る皆さんにより、地域の将来なりたい姿「まちづくり計画」を策定することで、

地域の目標が生まれ、地域の一体感が醸成されていきます。

・効果

- 各種団体が同じ組織として活動を行うことで、担い手の確保や地域の連携が促進され、地域の一体感が醸成されていき、地域のことを考えるようになっていきます。
- 各種団体により多角的な検討が行われ、活動が効果的・効率的になっていきます。

5. 地域自治組織の検討事項

(1) 区域

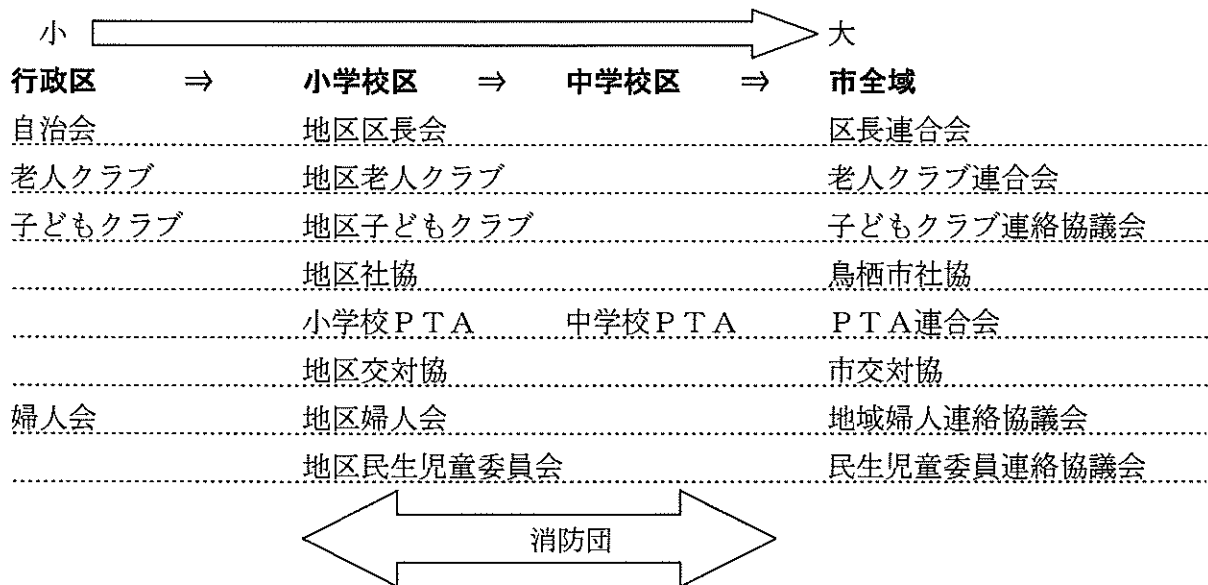
地域の課題として、特に防犯や防災が必要となっていることや、少子高齢化による対象者等の減少が想定されるため、今までの単位自治会から広域的な組織への対応が有効かつ必要となってきています。

○先進自治体の状況

- ・概ね小学校区を地域コミュニティの区域としています。

☆検討

区域の大きさによる、主な地域団体の状況



●本市の考え方

以下の理由により『小学校区を地域自治組織の範囲』としたい。

- ・「近所」という生活感覚に最も近く、子どもの通学路等で、親や住民が身近に感じる区域となっています。
- ・身近な区域であるため、地域課題の共有が出来やすく、活動の企画・実践に取り組みやすくなります。
- ・現在も小学校区単位で区長連合会等の組織があり、また地区運動会などの行事も実施されており、現在でもまとまっている区域と考えます。

(2) 活動拠点

先進自治体においては、地域コミュニティの活動拠点として、地区公民館などの公共施設を利用されています。

☆検 討

各地区における公共施設等の設置状況

	鳥 栖 地 区	鳥 栖 北 地 区	田 代 地 区	若 葉 地 区	基 里 地 区	麓 地 区	旭 地 区	合 計
地区公民館	1	1	1	1	1	1	1	7
老人福祉セン ター	1	1	1	1	1	1	1	7
小学校	1	1	2	1	1	1	1	8
中学校	2		1		1	1		5
保育園(公立)	1	1			1		1	4
町区公民館	1 3	5	1 1	8	1 0	1 1	1 2	7 0

※町区公民館の数は、1町区に複数ある場合も1軒で積算しています。

●本市の考え方

7地区に地区公民館と老人福祉センターが各1箇所ずつ設置されているため、活動拠点としては、両施設を中心に活動を進めていきたい。

※地区公民館、地区老人福祉センターの設置状況等

地区公民館		老人福祉センター		設置状況	備考
名称	建設年度	名称	建設年度		
鳥栖公民館	S 53 年度	鳥栖南老人福祉センター	S 53 年度	別場所	
鳥栖北公民館	S 62 年度	鳥栖中央老人福祉センター	H 7 年度	別場所	1階デイサービスセンター 2階老人福祉センター
田代公民館	S 60 年度	田代老人福祉センター	S 55 年度	別場所	
若葉公民館	H 11 年度	若葉老人福祉センター	H 11 年度	同一建物	館長・所長兼務 コミュニティセンター設置条例有
基里公民館	H 4 年度	基里老人福祉センター	S 51 年度	別場所	
麓公民館	S 51 年度	麓老人福祉センター	S 51 年度	同一建物	1階老人福祉センター 2階公民館
旭公民館	S 53 年度	旭老人福祉センター	S 56 年度	同一敷地内	

(3) 構成員及び組織体制

地域コミュニティを構成する構成員は、地域における連携を図るため、区域内の各種団体等を網羅することが必要です。

○参考として先進地である、資料4 宗像市 南郷地区コミュニティ運営協議会の組織図、活動内容を添付

第2回 鳥栖市まちづくり検討委員会

宗像市 南郷地区コミュニティ運営協議会

組織図・活動内容

平成21年9月3日

鳥 栖 市

組織

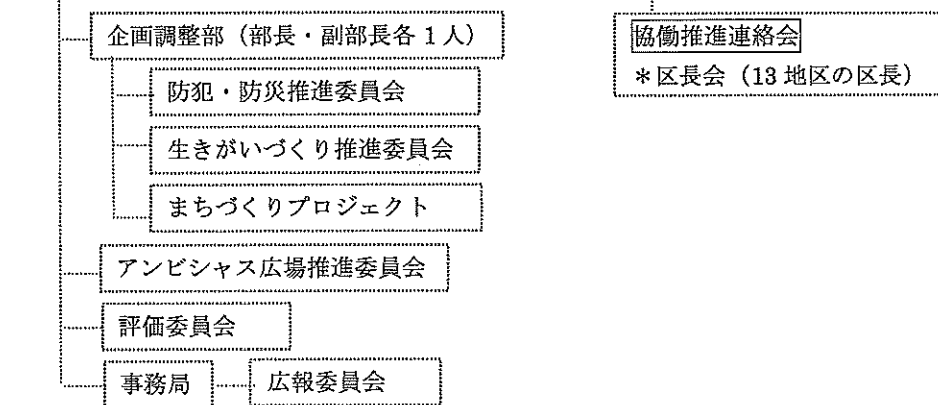
総会 (代議員 70 人)

運営委員会 (37 人)

* 区長会	13 人	* 公民館活動部会	3 人	* 地域づくり部会	3 人
* 青少年育成部会	3 人	* 福祉会	2 人	* 民生・児童委員協議会	2 人
* 青少年指導員会	1 人	* 老人クラブ	2 人	* このみ会	2 人
* 食生活改善推進会	2 人	* 小・中学校 P T A	2 人	* アンビシャス広場	1 人
* 生きがいつくり推進委員会	1 人				

役員会 (11 人)

* 会長 1 人 * 副会長 1 人 * 部会長・部長 6 人 * 会計 1 人



	活動内容	構成団体
生活環境整備部会	* 生活環境整備・開発事業 * 人権教育啓発活動 * 環境保全事業・公害対策事業 * 一斉清掃・ゴミ減量等事業 * 交通安全・防犯等対策事業	区長会・消防団 JA 南郷支店長 交通安全協会・(原町交番)
公民館活動部会	* 自治公民館活動推進事業 * 区子ども会活動事業 * 生涯学習・スポーツ文化事業 * コミュニティ運営事業支援	区長会・各公民館長 体育指導員・各区子ども会)
青少年育成部会	* 青少年育成事業 * 子ども会活動推進事業 * 地区内パトロール事業 * 学校情報・開放事業支援	区長会・青少年指導員会 老人クラブ・公民館長 区青少年育成協議会 小中学校 P T A・区子ども会 民生児童委員協議会 体育指導員
健康福祉部会	* 高齢者福祉事業 * 障害者福祉事業 * 健康づくり事業 * 福祉ネットワーク事業 * 世代間交流事業	区長会・福祉会・このみ会 福祉協力員・老人クラブ 食生活改善推進会 民生児童委員協議会
地域づくり部会	* 地域産業の振興、特産品の開発、地元の農・工・商の振興 * まちづくり活動、むらおこし講座開催、地域まちづくり 支援 * 地域行事の企画・実施	JA 青年部、女性部、研究部 商工会・恵商会 商工会青年部、女性部 唐津街道南郷協議会 許斐山愛好会・かのこの里 許斐山太鼓保存会

平成20年度 事業報告

I コミュニティ役員会・運営委員会

1 活動状況

(1) コミュニティ役員会

★ 定例 …… 12回 (H20-5月～H21-4月)

★ 臨時 …… 6回 (H20-11月～H21-4月)

(2) コミュニティ運営委員会

★ 定例 …… 4回 (H20-7月、10月、H21-1月、4月)

2 具体的活動内容

(1) 自主防災・防犯推進委員会

① 防災倉庫、防災資機材の設置

② 各地区ごとの自主防災組織立ち上げについて検討に入る

(2) 市行政との「まちづくり懇談会」

① 7月コミュニティ運営委員会にて、協議事項を検討

② 10月1日、市長、副市長、関連部長・課長と、コミュニティ役員会、区長会
関連団体代表による「まちづくり懇談会」開催

(3) ふれあい座談会

① 11月14日開催区長会出席

② 市行政改革とコミュニティ運営協議会について

市長がコミュニティで期待する自治会長像とはどのような内容かについて

(4) 第6回南郷文化祭

★11月1・2日開催

① 教室発表 作品展示

② 子ども会防犯看板作り 南郷村 食の文化祭開催

(5) 南郷地区コミュニティ発足10周年記念事業の検討

① H22年1月16日(土) どんど焼きと併せて記念式典開催

② 10周年記念誌発行

③ シンボルマークの作成

(6) コミュニティ役員選考委員会の委員選考方法の見直し

II 生きがづくり事業 … 健康づくりと生きがづくりを推進

1 南の風大学開校

- ① 5月開講～3月修了式（年10回）
- ② 学生総数83人 参加者数 毎回約65人

2 生きがづくり推進委員会

- (1) 毎週水曜日を「ウエルの日」として、南郷会館2階ホールの午後を一般開放
 - ★ 卓球、軽スポーツ、健康器具の使用など
- (2) 第3水曜日を「健康づくりの日」とする
 - ① 毎月の第3水曜日 … 「健康教室」開催
 - ★ 棒気功・ポール体気功・整体・体力測定・玄米にぎにぎ体操
脳の若返り運動など実施

3 料理ボランティア「つくし会」活動開始

- ① 7月8日楽食会 カレー作り
- ② 10月20日楽食会 松華堂弁当作り

III 南郷アンビシャス広場推進委員会 … 子どもの居場所づくりを推進

夢や目標に向かって努力する逞しい子どもの育成

1 放課後の子どもの居場所づくり

「異年齢の子どもの遊びや地域の大人との交流を通じて、
子どもに多くのことを学ばせる」

- (1) アンビシャスボランティアグループによる活動
- (2) 毎週火曜日、金曜日の放課後に「アンビシャス広場開設」
 - ★ 南郷小プール跡地、南郷小空き教室、南郷小体育館、南郷運動広場にて
昔遊び、スポーツ、室内遊びなど実施

2 休日の子どもの居場所づくり

- (1) 「ふれあい塾」と統合
- (2) 第3土曜日、9：30～11：30に主として、体験教室を開催
 - ★ 外部講師による科学実験、親子で野外炊飯、しめ縄づくりなど物作り体験
さつま芋、里芋、じゃが芋の苗植え、草取り、収穫、調理などの食育体験

3 子褒め運動をスタート

「褒めて伸ばそう」

- ★ 子どもたちの前向きな意欲や行動を積極的に褒め、それぞれの個性と能力を伸ばす手助けを
- (1) 南郷小6年生全員を卒業時に褒めてあげよう
 - ★ 保護者、アンビシャス推進員による、一人ひとりの褒め言葉を作成
- (2) 個人毎の褒め言葉を楯に記載し、銀メダルと一緒に表彰する
 - ★ 銀メダルの狙い … 中学生になって、さらに金メダルが取れる活躍を

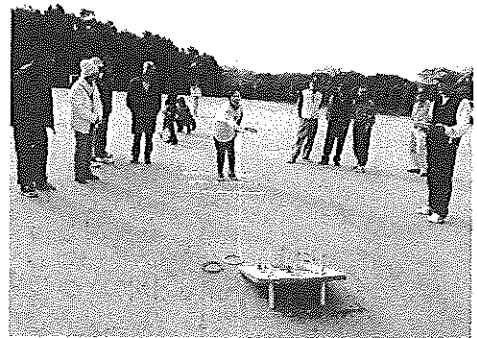
20年度 南郷地区コミュニティ運営協議会 部会報告

1 生活環境整備部会

1. 河川草刈一斉清掃、道路清掃 春季5月11日・秋季9月7日・道路12月7日
2. 防災訓練先進地視察(福岡市南区横手校区自主防災委員会) 7月2日
3. ゴミ減量作戦 段ボールコンポストで堆肥作り講座 10月21日・11月25日
4. 平成20年度「釣川クリーン作戦」 10月26日
5. 資源廃棄物有効利用・活用企業視察 (サンクス総合リサイクルセンター) 11月26日
6. むなかた環境フェスタ 11月30日
7. 不法投棄禁止啓発看板配布、設置 12月16日

2 公民館活動部会

1. 公民館長研修会(市計画) 5月16日・6月20日
2. 地区グラウンドゴルフ大会 7月6日
3. 第26回南郷まつり支援 8月23日
4. 地区ソフトボール大会 9月21日(雨天中止)
5. 大道芸まつり支援 9月23日
6. 市グラウンドゴルフ大会出場 11月2日
7. コミュニティ親睦グラウンドゴルフ大会参加 11月16日
8. 地区ニュースポーツ大会 11月23日
9. 地区囲碁大会 12月14日
10. どんど焼き支援 1月17日



【地区ニュースポーツ大会】

会議等 ※部会・・・7回/年 ※役員会・・・2回/年

3 地域づくり部会

1. 地域づくり委員会 7月10日・11月4日
2. 南郷まつり(南郷うどん粉広報活動・商工会出店担当) 8月23日
3. 大道芸まつり 9月23日
かかしコンクール・竹細工花壇・ポイントラリー
九州風景街道広報活動 地産地消活動
4. コミュニティ親睦グラウンドゴルフ大会 11月16日
5. 村おこし講演会「食と農について」講師森千鶴子 50人参加 2月28日
6. 部会視察研修 田主丸(山苞の会 JA直売所 巨峰ワイン工場 20人参加) 3月7日



【大道芸まつり】

4 健康福祉部会

1. 福祉会(健康福祉部会)総会 4月9日
2. 福祉協力員研修会 5月20日
3. 第1回バスハイク(単身高齢者を対象)下関水族館・唐戸市場 5月30日
4. 宗像市地区福祉会連絡協視察研修(熊本市社協・災害時要援護者の把握と支援) 6月23日
5. 理事・民生委員・協力員視察研修(篠栗町社協との意見交換会) 6月25日
6. 七夕まつり&第1回楽食会(南郷小学3年生・単身高齢者の世代間交流) 7月8日
7. シルバー農園耕作者会議(南郷・自由ヶ丘地区合同) 7月17日
8. 学童保育キャンプ(津屋崎大峰山キャンプ場・世代間交流) 7月19日
9. 宗像市福祉教育セミナー(福祉教育への取り組みについて) 8月8日

10. 親子で食育研修(講師を招いて研修・南郷会館) 8月28日
11. いきいきふれあいサロン研修会(講演とサロンで活用できるレクリエーション実践) 9月10日
12. 敬老の日の手紙発送(小学生より単身高齢者へ) 9月11日
13. 第2回楽食会(アトラクションと懇親会) 10月20日
14. シルバー農園収穫祭(南郷・自由ヶ丘地区耕作者の地域間交流) 11月6日
15. 理事・民生委員・協力員研修(講師を招いてレクリエーション実践実技研修) 11月10日
16. 第2回バスハイク(雷山千如寺・糸島産直市場 65歳以上高齢者を対象) 11月13日
17. ふれあい餅つき大会(南郷小学3年生・保護者及び単身高齢者の世代間交流) 11月28日
18. 原町恵比須お座まつり 12月6日
19. 愛の年賀状発送(小学生より単身高齢者へ) 12月13日
20. ふれあい見守り活動(単身高齢者訪問・歳末プレゼント) 12月20日
21. 福祉協力員研修(ふくふくプラザ) 2月6日
22. 福祉会「健康教室」健康体操と茶話会 2月24日

※ 4~3月 定例部会役員会議 12回・介護予防いきいき交流会 51回

5 青少年育成部会

1. 青少年育成部会総会 4月22日
2. 第1回子ども会代表者会議 6月28日
3. 南郷まつり実行委員会 6月17日
4. 南郷まつり開催 8月23日
5. 南郷文化祭で防犯看板作り(各地区子ども会) 11月1日
南郷文化祭で展示、コンクールを行う、各地区に掲示
6. どんど焼き実行委員会立ち上げ 11月18日
7. 子ども110番旗60本設置(各地区) 12月
8. どんど焼き・新春カルタ大会開催 1月17日
9. 第2回子ども会代表者会議 2月1日
10. ニュースポーツ大会(親子14チーム参加) 3月1日

※ 毎月第1金曜日南郷地区パトロール実施

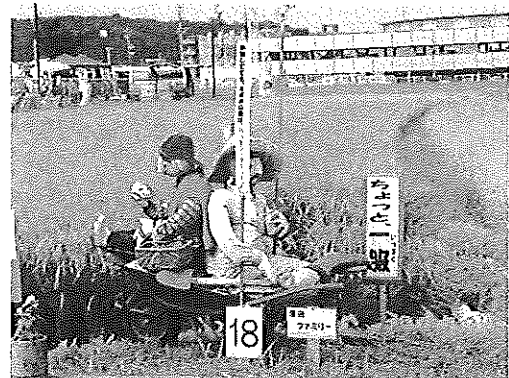
※ 毎月第3金曜日指導委員会パトロール実施



【南郷まつり子ども演芸大会】

6 南郷まちづくりプロジェクト

1. 送迎ボランティアの事業立案
2. 九州風景街道「原町唐津街道」への支援
3. 南郷自主防災・防犯推進委員会への支援
4. 花いっぱい運動(花苗の育苗)
5. かかしコンクール
6. 食育農園の支援
7. 豊後高田市「昭和の町」視察



【かかしコンクール優勝作品】

7 コミュニティ講座(事務局)

- ☆ 生きがいづくり事業 南の風大学 親子教室「南郷キッズ」 健康教室
- ☆ ボランティア養成事業 料理ボランティア「つくし会」 ワイルドクッキング
- ☆ 一般事業 食育農園 大人の遠足 お楽しみ講座「自然観察」

資料 5

第2回 鳥栖市まちづくり検討委員会

宗像市のコミュニティづくり
(パンフレット)

平成21年9月3日

鳥 栖 市

(略)

第2回 鳥栖市まちづくり検討委員会

○ 宗像市コミュニティ運営協議会への行政視察について

平成21年9月29日（火曜日）

※ 集合時間 12時50分 鳥栖市役所 職員玄関

※ 出発時間 13時00分

行政視察先及び日程

- ①吉武地区コミュニティ運営協議会（吉武地区コミュニティセンター）
（住所：宗像市吉留3519-1 電話：0940-32-5904）
- ②14時から約2時間 説明及び質疑応答

吉武地区の状況（平成21年7月末）

人口 1,975人（男942人、女1,033人）

世帯数 833世帯（2.4人/世帯）

14歳以下人口率 8.1%、65歳以上人口率 36.3%

参考（平成21年7月末）

（宗像市全体 2.5人/世帯、14歳以下13.7%、65歳以上21.8%）

（鳥栖市全体 2.7人/世帯、14歳以下16.9%、65歳以上19.1%）

○ 第3回 鳥栖市まちづくり検討委員会

開催日時：平成21年10月6日（火曜日）13時30分～（約2時間予定）

開催場所：市役所 2階第3会議室

議 事：地域自治組織の検討について